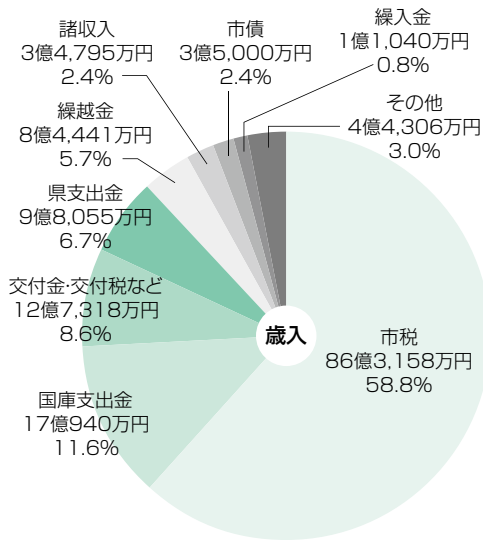


一般会計の歳入・歳出

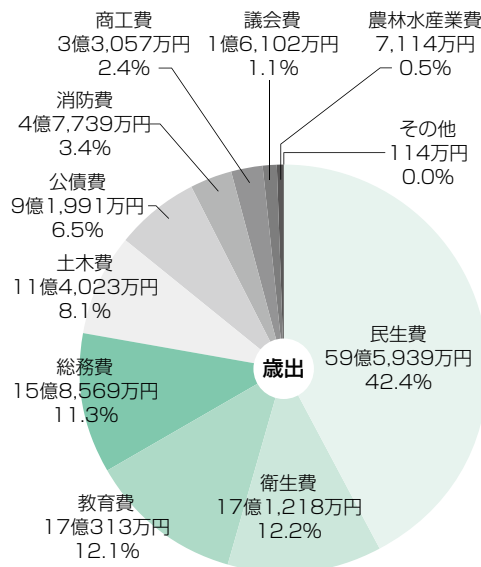


歳入決算額
146億9,053万円

- <主なもの>
- 国庫支出金
 - ・児童手当の国負担金 (6億8,692万円)
 - 県支出金
 - ・障がい福祉サービスの県負担金 (1億2,994万円)
 - 繰入金
 - ・財政調整基金(貯金)の取り崩し (1億756万円)

歳出決算額
140億6,179万円

- <主なもの>
- 民生費
 - ・保育園の管理運営費用 (10億8,281万円)
 - 衛生費
 - ・ごみ処理関係費用 (4億7,578万円)
 - 教育費
 - ・小中学校維持管理費用 (4億1,801万円)
 - 総務費
 - ・市役所本庁舎整備関係費用 (1億4,847万円)



一般会計決算の状況

さらに、今後も公共施設の老朽化や少子高齢化などさまざまな問題にお金を必要とするため、より一層、健全な財政運営ができるように努力していきます。

平成29年度一般会計の実質収支額(収入と支出の差額)は、およそ6億円で、黒字となりました。歳入では、市税が見込みより多く入ったことや歳出を抑えることができたことなどが要因です。しかし、財政調整基金(貯金)を一部取り崩しているなど、決して財政状態に余裕があるわけではありません。



平成29年度

たかはまの決算

9月市議会定例会において、平成29年度の決算が認定されました。皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

決算総額

歳入 **244億7,026万円**
(前年比0.9%減)

歳出 **234億2,006万円**
(前年比0.7%減)

一般会計

歳入 **146億9,053万円**
(前年比2.4%減)

歳出 **140億6,179万円**
(前年比1.0%減)

特別会計

歳入 **87億7,535万円**
(前年比1.2%増)

<内訳>

国民健康保険事業	40億8,394万円
土地取得費	4,533万円
公共下水道事業	14億3,768万円
公共駐車場事業	7,582万円
介護保険	26億4,200万円
後期高齢者医療	4億9,058万円

歳出 **82億4,140万円**
(前年比0.2%減)

<内訳>

国民健康保険事業	38億2,093万円
土地取得費	77万円
公共下水道事業	13億8,103万円
公共駐車場事業	2,245万円
介護保険	25億3,329万円
後期高齢者医療	4億8,293万円

企業会計(水道事業)

収益的収入 **8億9,349万円**
(前年比1.5%増)

収益的支出 **7億5,352万円**
(前年比0.2%増)

資本的収入 **1億1,089万円**
(前年比5.3%増)

資本的支出 **3億6,335万円**
(前年比0.7%増)